資料 9

宗像市子どもの居場所づくり
推進プログラム具体的施策
（案）

教育委員会子ども課

宗像市子どもの居場所づくり推進プログラム具体的施策

主　旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

基本方針３つの柱　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

具体的な事業概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

宗像市子どもの居場所づくり基本方針提案書
（宗像市社会教育委員の会）・・・・・・・・・・・・・・１９

宗像市子どもの居場所づくり推進プログラム具体的施策

▽　主旨

少子高齢化・高度情報化の進行、体験不足や問題行動の深刻化、地域や家庭における教育力の低下など、子どもたちを取り巻く環境は近年大きく変化している。

こうした中で、将来の宗像市を創る心豊かでたくましい子どもたちを社会全体で育むことを目的とし、18 歳未満のすべての子どものための安全で安心して活動できる居場所づくりが求められている。

教育部子ども課では、市内のあらゆる場所、あらゆる機会を活用し子どもの居場所づくり事業を推進する。

▽子どもの成長と居場所に関する啓発や理解の推進

- 子どもの成長と地域の関わり方の啓発
  - 活動実態の調査・把握
  - 安全安心な環境づくり
  - 特別な支援を必要とする子ども理解のための取組み
- 遊びの意義
  - 遊びの意義の啓発
- 大人の役割についての啓発
  - 家庭教育の充実
  - ワーク・ライフ・バランスの見直し

▽子どもの活動や居場所のための人づくり

- 子どもの活動や居場所づくりのための人づくりの必要性と人材の育成
  - 人材の発掘及び育成並びに活用
  - 各種関連講座・研修会の開催による人材の育成
  - 情報交換会の開催
- 子どもの居場所に関するセンター機能のための人材配置
  - 居場所づくりのための人材の活性化
  - 各種ボランティア団体間の連携

▽コミュニティづくりへのつながり

- コミュニティに子どもの居場所を位置づける
  - 活動状況を広報することによる地域の意識づくりの推進

    - 地域で活動する人材の育成
    - 学校施設の活用
    - 学童保育との連携
    - 危機管理の体制づくり
- 運営組織での配慮
    - 運営組織としての青少年育成部会の位置づけ
    - 子どもが事業に参画できる組織づくりの推進
    - 地域の人材の活用及び登用システムの構築
- 地域への愛着づくりを
    - 乳幼児期からの地域との関係づくり
    - 子どもにとって身近な場所での居場所づくり
    - 学校施設の活用とコミュニティとの連携の促進
    - 伝統文化・伝承遊びの継承、世代間交流、宗像の自然を活かす活動の推進
    - 家庭・学校・地域・関係団体・NPO の協働の推進